



Rotary Serving Humanity
2016~2017年度RIテーマ

例会場：ホテル ブエナビスタ／例会時間：第1・2水曜日 19:00~20:00, 第3・4・5水曜日 12:30~13:30

「お城を見つめ直す」

点 鐘 19:00 西牧会長
司 会 S.A.A・プログラム 宮澤クラブ管理委員長
斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」

会長あいさつ 西牧会長

最近NHKの「ためしてガッテン」で睡眠薬がデルタパワーで糖尿病に効果があると放映してしまい騒動となっています。概して健康番組は全く根拠のないものを健康食品会社の資金をあてにして放送しているものがほとんどですが、NHKお前もかと驚きです。高齢者に対するオレオレ詐欺にも似た問題です。



このようなことが頻発するのは、人の認知能力にはもともと騙し騙される要素があるからです。認知能力で社会的に問題視されているのは認知症ですが、企業としてはうつ病の方が問題です。うつ状態とは現実を悪い方へと歪めて捉え、ネガティブな思考が思い浮かび、その結果精神的に不安と焦燥の中に沈み込んでいく状態です。抑うつ者が特有な枠組みで社会を解釈した結果と考えられていましたが、最近抑うつ者の方が現実に近いのではないかと考えられています。

私たちは、目や耳から入ってきた情報を、歪めることなく正確に捉えて、その情報に忠実に私たちの認識を形作るわけではなく、あらゆる情報を、自分の都合で勝手に選り好みし、また適当に歪め、自ら作り上げた世界像を認識しているのです。つまり「自分で自分を騙す」メカニズムが人間の根底にあるのです。一般に詐欺は、だます人(1)がいて、別の騙される人(2)に対して、何らかの意図(3)を持って、真実でないもしくは歪曲された情報を伝える(4)ことで、騙される人を意図通りの行動へ誘導し(5)、結果として利益を得る(6)という構図です。例えば、振り込め詐欺では、犯人(1)が、被害者のお年寄り(2)に対して、お金を取ろうと言う悪意(3)の下に、息子が金に困っていると言う虚偽の情報(4)を与え、騙されたお年寄りがお金を払い込み(5)、犯人はお金を得る(6)となります。この騙す人と騙される人が1人の人の頭の中でも行われています。情報をふるいにかけ、特に重要な情報のみが選抜されて、頭の中の処理システムへと送られるのですが、そこで普通は、自分の評価を下げたり自尊心や希望を脅かしたりしないように、都合の悪い情報をカットしたり、逆に自分に有利なことばかりが強調されるように

なります。しかも悪いことにこの情報の偽装過程は意識に上らず、自動的に高速に行われます。結果的に自分自身を不当に高く評価してしまうことで鬱などの感情的な問題に陥ることなく、前向きに生きる精神的、身体的な健康を手に入れるわけです。恋愛状態も同じです。恋は盲目と言うのはまさにこのことです。コンピューターで言えばスパムフィルター役目を私たちの頭の中で自然に極めて高速に無意識に行っています。この無意識の騙しによって、あえて事実を曲げてでも情報を加工して、世の中に適応しているのです。

幹事報告 藤田幹事

① 2月23日、2015-16年度 RID2600地区幹事

大蔵 治様(松本RC)がご逝去されました。本日(3月1日)午後1時、市場のみすず野法祥苑にて合同葬が執り行われました。クラブより弔電を呈しました。謹んでご冥福をお祈りし申し上げます。

②世界寺子屋運動キャンペーン(書き損じハガキ回収運動)協力の御礼。

書き損じハガキを切手6,068円分に交換、未使用切手893円、合せて切手6,961円分を日本ユネスコ協会連盟へ送付いたしました。ご協力ありがとうございました。

③本日例会終了後、定例理事会開催。

出席報告 中島クラブ管理副委員長

会員総数 22名(内出席規定適用免除欠席者3名)
本日の欠席者7名(他2名は事前メイキャップ済)
出席率 63.16%

前々回(2/15)修正欠席者5名 出席率72.22%

ニコニコボックス報告 中島クラブ管理副委員長

コメント ◇今日は確定申告に行ってきました。毎年ドキドキです。西牧君 ◇もう3月。忙しくなりますね。藤田君 ◇今日から3月です。今年は雪が少なく心配のところもありますが、上雪(かみゆき)もなく春に向かってくれればと思っています。中島君 ◇さくら さくら 弥生はいやよ 見渡す限り、花粉かPM2.5か くしゃみぞ出ずる、いざやだけど いざやだけど 医者行かん。塚本君 ◇3月30日、バイロイト祝祭コンサートが音文ホールであります。ヴァイオリンだけのクアルテットです。このコンサートには是非皆様ご鑑賞をお願いします。井筒君 ◇かの国は1兆ドルをインフラに投資するそうです。わが国の景気も上向くか?! 宮澤君 アリオの閉店は時代の流れとはいえ、やはりショックですね。40年前のオープンに胸をワクワクしながら連れて行ってもらったことを思い出しました。宮坂君

なんとなく ◇西川君

配布資料；「ロータリーの友 3月号」「2016 地区大会報告書」「ガバナー月信 3月号」「幹事報告」「会報 No.30・No.31」

回覧資料；「第39回中信平9クラブ合同親睦ゴルフ大会のご案内(松本南RC)」「第7回老いるほど若くなる礼状・招待状」

～ プログラム ～

《会員卓話》 西牧敬二会長

私と松本城の関わりについては以前会長挨拶でも述べていますので割愛させていただきます。病院で診察していると、古い町名を使う患者さんがたくさんいます。この町名を何年経っても覚えられません。いつもネットで調べた一覧表を参考にしていますが、そこには町名の由来も記されており、130以上の町名が載っていますが、町を歩いていると道の角の石にそのほとんどが記されています。松本城下町は中心になる本町・中町・東町という3つの町があり、そこに枝のように10の町がつながり、さらに細い小路が24、それぞれの道から出て、道と道をつないでいましたので、町名は城下町の構造を知るためにも大切な情報です。「三才」「縄手」「征矢野」などなどその由来を知ると、ほほうと松本城下町にさらに興味が湧いてきました。

《会員卓話》 井筒信一会員

「松本少年刑務所 出前講座報告」



先日、少年刑務所へ出前講座に行っていました。ヴァイオリンと素材と道具一式を持参しました。講演を先にし、その後実演をしました。

今日、その時の感想を沢山いただき、ビックリしました。皆さん、熱心に聞いて下さり、どれも素晴らしい感想です。一部読まさせていただきます。

＜電工訓練生＞

私は今回職業倫理講話に参加させていただきました。まず私は今回講話をして下さる先生の若々しさに驚きました。事前に年齢等を教えて頂いていたのですが、とてもその様に見えません。きっと今もなお、第一戦で活躍されているからこそ、そのような若々しさを保てるのだと私は思いました。

講話では非常に有難く、私も見習わなければいけない事や、私にとってプラスになる様な事をたくさん聴くことが出来ました。何よりも先生が自分の仕事に対する「熱い思い」というのを感じ、これまで仕事に対して「責任」や「誇り」というものを全く持っていなかった自分が今は恥ずかしく感じております。先生は「どんな材料であっても、それを最大限に活用する」とおっしゃられ、その上で先生が所有されている材料を「宝物」とおっしゃられた時には、私は感動しました。「つくっている」ではなく「つくらせて頂いている」という事なのだと思います。それ以外にも「昨日より今日」という向上心が本当に大切なの

だという事を教えて頂きました。60年間続けていても常に「未完成」、その言葉は非常に重く感じております。現状に満足することなく上を目指していれば成長し続けるはずで、私にはこの向上心が本当に足りておらず、今後は先生のような高い向上心を持ち、成長して行ける様に努力します。

今回の講話で私は本当にたくさんの事を教えて頂き、学び、気が付く事ができたと思います。ここに書いたこと以外にも「正しいものは1つではない」という事や「個性を大切にすること」、「何でもかんでも1つの尺度で測らない」等、本当に有意義な時間を過ごせました。そして今後は、今日学んだことや気が付いたことを実践していける様にすることが大切です。

最後に、今回講話して下さいました先生、そしてこのような講話に参加させて頂いたことに深く感謝しております。本当にありがとうございました。

《R情報》 宮澤 徹クラブ管理委員長 「財団100周年を祝おう」

2016-17年度に100歳の誕生日を迎えるロータリー財団。1世紀にわたり、世界中のロータリー会員による奉仕活動を支え、奨学金を通じて若者を支援し、ポリオ撲滅を実現に近づけてきました。



きれいな水と衛生設備の提供、疾病の予防と治療、平和と紛争解決、基本的教育の推進、経済と地域社会の発展は、いずれもロータリーが力を注いでいる分野です。これらの分野とポリオ撲滅において、ロータリー財団は重要な役割を果たしてきました。

《2017年ロータリー国際大会》

ロータリー財団100周年の記念行事は、韓国での2016年ロータリー国際大会で幕を開け、2017年6月10～14日にアトランタで開かれる2017年ロータリー国際大会でフィナーレを迎えます。アトランタ国際大会では、次のような特別な機会が設けられます。

- *ロータリー財団の100歳記念パーティーに出席する
 - *ロータリーの現・元リーダーと会い、著者デイビッド・フォワード氏のサイン会でサインをもらう
 - *友愛の家に設置される財団100周年展示を見る
- ◇100周年を記念する特別寄付を行い、募金目標の達成にご協力を

歴史的な節目となるこの年度、ロータリー財団では、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金への寄付の合計目標を3億ドルとしました。100周年を記念する特別寄付を行い、財団の新たな1世紀の活動をご支援ください。きれいな水、疾病との闘い、貧困の緩和、平和の推進、基本的教育の推進、地域社会の経済的発展など、ロータリーはこれからも世界で支援活動を続けていきます。

点 鐘 20:00

西牧会長

[写真；西川]

3月15日例会プログラム／移動例会(職場見学；湯々庵 枇杷の湯)

会員増強にご協力ください。